

京都の土地改良



「山里の雪化粧」第19回水・土・里ふるさと写真コンクール 銅賞(受賞者 廣瀬 誠)

年頭ごあいさつ

京都府土地改良事業団体連合会会長	田 中 英 夫	2
京都府知事	西 脇 隆 俊	3
全国土地改良事業団体連合会会長	二 階 俊 博	4
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	進 藤 金 日 子	5
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	宮 崎 雅 夫	6

主な活動

令和4年度理事会並びに監事会	7
第44回全国土地改良大会 沖縄大会	8
農業農村整備の集い及び決議文に基づく要請活動	9
農業農村整備事業に係る予算確保に向けた要望活動	10
令和5年度農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要	12
新田辺排水機場・田辺地域治水対策事業の着工を祝う会	13

研修会等

令和4年度水土里ネット京都土地改良区役職員等研修会	14
令和4年度近畿農業農村整備構造改革推進研修会	14
女性活躍を推進する取組について ～全国水土里ネット女性の会研修会～	15
水土里相談推進事業について	15
令和4年度換地等技術向上研修	16
令和4年度農業農村整備技術実践向上研修	16

土地改良区等紹介（瓶原土地改良区）	17
-------------------	----

その他の活動等

京都府農林水産フェスティバル2022	18
令和4年度京都府農林水産業功労者表彰	18
デジタル化推進の取組 ～リモート会議に参加する上での注意点～	18
京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取組	19
京都府農業用ため池管理保全サポート協議会の取組	19

新年のご挨拶

京都府土地改良事業団体連合会 会長

田中英夫



新年あけましておめでとうございます。

令和5年の年頭に当たり、京都府土地改良事業団体連合会の会員をはじめ、関係の皆様にご挨拶を申し上げます。

また、日頃から、本連合会の運営並びに諸事業の推進につきまして、多大なご理解とご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年も、新型コロナウイルス感染症が、「第6波」「第7波」と続き、収束が見通せない中、本連合会におきましては、感染予防対策を実施しながら、コロナ禍以前と同様に、農業農村整備事業推進大会（6月）や土地改良区役職員等研修会（11月）などを開催するとともに、3年ぶりに対面で開催された全国土地改良大会沖縄大会に参加し、多くの会員の皆様にご支援をいただきました。

農業が魅力ある産業として発展するとともに、農村地域の安心安全が確保され、農業農村が有する多面的機能が維持・発揮されるためには、一層の農地整備の推進や水利施設の保全と更新、ため池や排水機場の改修をはじめとする農村地域の防災減災対策など、農業農村整備事業の推進が不可欠です。また、これら土地改良施設の維持管理を担う土地改良区の適正な運営を確保するためには、複式簿記の円滑な導入や女性の能力発揮など、土地改良区の実情に応じた支援が必要です。

これらを推進する農業農村整備事業関係予算につきましては、昨年末に令和5年度当初予算が、対前年100.1%となる4,457億円（令和4年度4,453億円）を閣議決定され、すでに成立している補正予算の国土強靱化5か年対策・TPP対策等1,677億円と合わせますと、6,134億円となります。このような予算確保の見通しとなったことに対しまして、農林水産省御当局のご尽力に感謝申し上げますとともに、国政でご活躍の進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員のお力添えをいただき、我々土地改良関係者の声を国政の場にしっかりと届けられた賜と考えておりますので、引き続き両議員の活動としっかり連携しながら、会員の皆様と一体となって、予算の確保や施策の充実・強化を推進して参りたいと考えております。

結びに、本年は、コロナ禍が収束するとともに、皆様方がご健康で幸多き年になりますようお祈り申し上げます。私の新年のご挨拶と致します。



あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナとの闘いも3年になろうとしています。長きにわたり感染防止対策に取り組んでいただいている皆さま、そして、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表します。

去年は新型コロナの拡大に加え、ロシアによるウクライナ侵攻や世界的な物価高、さらに記録的な円安などに見舞われ、今も社会生活への甚大な影響が続いています。こうした情勢の中でも安心して豊かに暮らし、将来に向かって夢を抱くことができるよう、「あたたかい京都づくり」を進めていくことを決意し、総合計画を1年前倒しして改定しました。同計画に基づく施策を令和5年度当初予算に盛り込みます。

「時が物事を変えると人は言うが、実際は自分で変えねばならない～They always say that time changes things, but you actually have to change them yourself～」。これは米国の芸術家アンディ・ウォーホルの言葉です。今年3月、いよいよ文化庁が京都で業務を開始し、明治維新以来初の中央省庁移転が実現することとなりました。彼が言うように、この歴史的な出来事が私たちに何をもたらすかではなく、私たちがこの機会をどう活かしていくかが問われます。「文化の都・京都」の実現に向け、国と地方が連携して日本各地の文化に光を当て、世界へ発信し、ここ京都から新たな文化の潮流を起こしたいと考えています。

この他、「社会で子どもを育てる京都」の実現に向け、子育て環境日本一の取り組みを進化させてまいります。また、京都の強みである大学の「知」と学生の「力」を積極的に地域や企業に取り入れ、京都の活力を生み出してまいります。そして新名神高速道路開通や、大阪・関西万博開催などの好機を活かし、京都の発展に取り組んでまいります。

今年卯年です。その愛らしい姿と温厚な性質で「家内安全」を、跳躍する姿で「飛躍」を象徴するウサギの年にふさわしく、皆さまと共に「あたたかい京都づくり」へ邁進してまいります。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年に当たって

全国土地改良事業団体連合会 会長

二階 俊博



令和5年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、様々な感染対策を講じた上で、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立を図るウイズコロナの方針が示されました。皆様におかれましては、「新しい生活様式」を日常生活に取り入れ、引き続き、感染拡大防止に十分ご留意いただきますようお願いいたします。

また、昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻の影響もあり、一部の国では穀物の輸出規制が実施されるなど、食料流通の機能不全や食料価格の高騰など食料安全保障をめぐる負の影響が国際社会に生じました。

国内では、農業者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、燃料価格の上昇に伴う農事用電力料金の急激な高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような国内外の情勢にかかわらず、食料安全保障の観点から、日本の食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

岸田内閣は、こうした状況を踏まえて「食料・農業・農村基本法」の見直しに着手しました。この検討の動きを注視しつつ、我々土地改良関係者は、農業・農村の喫緊の課題に積極的に取り組んでいく必要があります。

令和5年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,457億円を確保することができました。この結果、令和4年度の補正予算を含めると6,134億円となります。

また、令和4年度補正予算において燃料価格の上昇に伴う土地改良区の電気代高騰分の7割を支援する仕組みが導入されました。

御尽力をいただいた当局をはじめ関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第5次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、我々土地改良団体における喫緊の重要課題となっています。

将来の組織体制の強化・発展のためにも女性参画を進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、私は本会の会長に就任以来「闘う土地改良」を掲げ、組織一体となって闘ってまいりました。昨年の参議院選挙においては、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員が見事に当選を果たされました。

宮崎雅夫参議院議員と共に「車の両輪」となって、全国を駆け回り、皆さんの声を聞き、土地改良予算の確保だけでなく、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声が国会に届くよう、二人の活動の支援をお願いいたします。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げます、私の新年の御挨拶といたします。

新年のご挨拶

全国水土里ネット 会長会議顧問
参議院議員

進 藤 金 日 子



新年、明けましておめでとうございます。京都府土地改良事業団体連合会の皆様には、旧年中、大変お世話になりました。お陰様で先般の参議院議員選挙で再選を果たすことができました。二期目においても、引き続き現場主義、地域主義に徹して政策実現に努めてまいる覚悟です。本年も何卒宜しくお願い致します。

懸案の土地改良予算については、昨年12月に成立した令和4年度補正予算で1,677億円（TPP等対策：760億円、国土強靱化5か年加速化対策：817億円、食料安全保障対策：100億円）が措置され、また、令和5年度当初予算政府原案は昨年度より4億円増加の4,457億円で、補正予算と合わせて6,134億円となりました。これらには農業水利施設の電気料金高騰対策も盛り込まれ、本年度と同様に地域の要望に応えられる所要の予算が確保できたものと考えています。

さて、昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が続く中、2月のロシアのウクライナへの侵略により、エネルギー価格の上昇、穀物価格や飼料価格の上昇、肥料価格の高騰、円安の急激な進行による物価の上昇等があり、これらは国民生活に大きな影響を与えています。政府は、エネルギー価格や電気料金、肥料価格等の高騰対策を講じてきたところですが、これらを含め物価高は本年も続くと思われまます。引き続き、物価動向を注視しながら必要な対策を講じることが重要であり、私も各種対策の実現に貢献してまいる覚悟です。

昨年7月の再選後、全国各地で講演等を行ってまいりました。そこで感じたのは、経済安全保障と食料安全保障に対する国民の意識の高まりです。昨年後半の円安の進行も踏まえ、各種生産拠点の国内回帰をはじめ国内での強靱なサプライチェーン再構築の緊急性を改めて認識しております。

また、昨年6月の参議院決算委員会で、私は政治信条である「食料安全保障」について岸田総理に対し質問しました。総理からは「食料の安定供給の確保は国家の国民に対する最も基本的な責務の一つ。新しい資本主義のビジョンの下、食料安全保障を強化するべく政府一体となって取り組んでいきたい」との答弁を頂きました。

私は、「食料供給力」（国内生産力、輸入力、備蓄）の中で弱体化している国内生産体制の強化が喫緊の課題で、まさに「食料自給力」の強化が不可欠であると訴えています。その最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、自給力の強化を図るには、農地と水の持つ機能を高める土地改良を中長期的な展望を持って推進していくことが重要です。このため、今後も予算を安定的に確保するとともに、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、目に見える成果を出していく必要があります。

本年も土地改良推進に対する貴連合会の皆様のご協力をお願い致しますとともに、皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げます、新年のご挨拶にさせていただきます。

新年のご挨拶

全国水土里ネット 会長会議顧問
参議院議員

宮崎 雅夫



輝かしい初春を迎え、京都府土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係の皆様へ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、農業農村整備事業の円滑な推進ならびに土地改良施設等の適切な管理や土地改良区の適正な運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、昨年8月まで農林水産大臣政務官を勤めさせていただき、その間、皆様方から多くのご要望等をお受けしましたが、それぞれの地域の課題解決等に向け、進藤金日子議員や農水省の職員の皆さん等と共に一所懸命に対応させていただきました。これらご要請の事項を含め、昨年12月に成立した平成4年度第2次補正予算では、農林水産関係で総額8,206億円、このうち、農業農村整備事業関係については、1,677億円（食料安全保障強化対策100億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災、国土強靱化817億円）が措置され、この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金の高騰対策として、増嵩分の7割を支援する新たな制度も含まれています。また、令和5年度当初予算の概算決定額として、前年を上回る4,457億円が計上されており、合計額は6,134億円となる見込みとなりました。これから行われる国会での議論において、しっかりと確保できるよう一所懸命に努めてまいります。

さらに、昨今の国際情勢や長引くコロナ禍により、農業農村にも多くの影響が及んでいますが、とりわけ、カロリーベースで6割程度を輸入に頼る我が国の食料事情にあって、その安定供給を図る食料安全保障の確立に向けた取り組みが求められております。国内農産物の生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向に対応するスマート農業を実現する土地改良の促進や農業農村関係人口の拡大などを含め、しっかりと推進していくことが重要です。

私も、卯年の今年は年男を迎えますので、「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりと伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいります決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、京都府土地改良事業団体連合会ならびに会員土地改良区、関係機関の益々のご発展と皆様方のご健勝を心より祈念申しあげ私の新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

令和4年度理事会並びに監事会

理事会並びに監事会・監査が開催され、すべての議案が承認されました。

第1回監事会・第1回監査

日時 令和4年7月19日(火) 午後1時から

場所 本会役員会議室

〈監事会〉

- (1) 令和4年度の監査計画について
- (2) 令和4年度(第1回)収入支出補正予算の承認について
- (3) 本連合会と理事との契約について

〈監査〉

- (1) 令和3年度事業報告書
- (2) 令和3年度収入支出決算書(案)並びに財産目録
- (3) 積立金の管理状況
- (4) 現物確認



第1回監事会・第1回監査

第1回理事会

日時 令和4年7月23日(土) 午後3時から

場所 都ホテル京都八条(京都市南区)

〈議事〉

- (1) 令和3年度事業報告書の承認について
- (2) 令和3年度収入支出決算並びに財産目録の承認について
- (3) 令和4年度(第1回)収入支出補正予算の理事会専決処分の承認について
- (4) 京都府土地改良事業団体連合会職員服務規程の変更について
- (5) 京都府農業農村整備事業推進協議会規程の廃止について



第1回理事会

第2回監事会

日時 令和4年12月1日(木) 午後1時から

場所 本会役員会議室

〈議事〉

- (1) 令和4年度(第2回)収入支出補正予算の承認について
- (2) 本連合会と理事との契約について

〈その他〉

- (1) 土地改良施設維持管理適正化事業の賦課金について



第2回監事会

第2回理事会

日時 令和4年12月3日(土) 午前11時30分から

場所 亀甲家(綾部市)

〈議事〉

- (1) 令和4年度(第2回)収入支出補正予算の理事会専決処分の承認について

〈協議事項〉

- (1) 土地改良施設維持管理適正化事業の賦課金について

理事会後、綾部用水(綾部井堰土地改良区)を現地視察



第2回理事会 現地視察(綾部用水)

第44回全国土地改良大会 沖縄大会

令和4年11月22日（火）、第44回全国土地改良大会（沖縄大会）が復帰50周年記念の年に『水土里の拓くみるく世を鳴らしとうゆまし守禮の邦から』をテーマに、沖縄県沖縄市の「沖縄アリーナ」で全国各地から2,300名余りの土地改良関係者が参加（京都からは会員・事務局等107名が参加）し、開催されました。

オープニングセレモニーでは、沖縄の伝統武術である空手を迫力ある団体形演武で披露されました。

大会式典は、開会宣言に始まり、国家斉唱の後、古謝景春沖縄県土連会長が開会挨拶、二階俊博全土連会長が主催者挨拶、玉城デニー沖縄県知事、桑江朝千夫沖縄市長の歓迎のことばに続き、勝俣孝明農林水産副大臣、西銘恒三郎衆議院議員、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問、宮崎雅夫同顧問の来賓祝辞がありました。続いて行われた、土地改良事業功績者表彰では、京都府から舞鶴市長の多々見良三様が全土連会長表彰を受賞されました。



休憩の後、沖縄の本土復帰後の土地改良による農業農村振興の取組について、安部伸治農林水産省農村振興局次長から「夢（いみ）をつなぐ土地改良」と題して基調講演が行われ、続いて、優良事例紹介として、農業生産法人（有）大嶺ファーム代表取締役の上地登氏から「地下ダムが変えた宮古農業とこれからの期待」、瀬名波土地改良区理事長の當山眞市氏から「読谷村 軍用地返還跡地土地改良事業と瀬名波地区について」の2件の報告がありました。

大会宣言は、沖縄県土連の知念智子さんと島袋朝気さんが、『本日、ここに集う私たちは、持続的な農業・農村を可能とするため「水（みず）」「土（つち）」「里（さと）」を守り、引き継いで行くこと』を本土復帰50年を迎えた沖縄から全国に向けて、高らかに宣言し、満場の拍手が寄せられました。

最後に、次期開催県である福井県に大会旗引継ぎが行われ、山崎正昭福井県土連会長の挨拶のあと、知念武沖縄県土連副会長の挨拶で閉会となりました。

大会終了後、宿泊地である那覇市内のホテルにおいて、3年ぶりとなる京都府の参加者による交流会を行いました。交流会では、様々な情報交換が行われ、盛会の内に終了しました。

翌日は、京土連が設けた府独自事業視察コースに、読谷村（長浜ダム）等を視察しました。

なお、次回の第45回全国土地改良大会（福井大会）は、令和5年10月11日（水）福井県越前市のサンドーム福井で開催されます。多数の参加をお待ちしています。



大会宣言 知念智子氏



事業視察（長浜ダム）

農業農村整備の集い及び決議文に基づく要請活動

令和4年10月20日（木）、東京都千代田区のシェーンバツハ・サポーにおいて、「農業農村整備の集い」が、全国の土地改良関係者と吉井章参議院議員（京都府選挙区）をはじめ多数の衆参国議員の参加の下、盛大に開催されました。

京都府内からは、本会近藤副会長をはじめ会員土地改良区、市町村関係者の11名で参加しました。



まず、主催者を代表して、二階全土連会長より、「農家の方々に期待を持って働いていただける環境をつくるため、我々は、十分な予算の確保に向け、一致団結していく必要がある」、「土地改良区と土地連の女性理事登用を推進し、男女ともに一致団結して、更なる『闘う土地改良』を続けていただくことを願います」との挨拶があり、続いて来賓として、藤木農林水産大臣政務官、自由民主党の遠藤総務会長、森山TPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長、江藤総合農林政策調査会長、武部農林部会長、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤参議院議員からの祝辞、「全国水土里ネット女性の会」初代会長として、各県の女性の会の立ち上げ等に尽力された水土里ネットやまなしの萩原総務課長に感謝状の授与がありました。

その後、要請文が朗読され全会一致で採択されました。来賓紹介後、岩手県の胆沢平野土地改良区から女性理事登用の取組についての事例発表、全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎参議院議員から情勢報告がありました。

最後に、令和5年度当初予算の獲得を目指し参加者全員による「ガンバロウ三唱」で締めくくられました。



二階俊博 会長



進藤金日子 参議院議員



宮崎雅夫 参議院議員

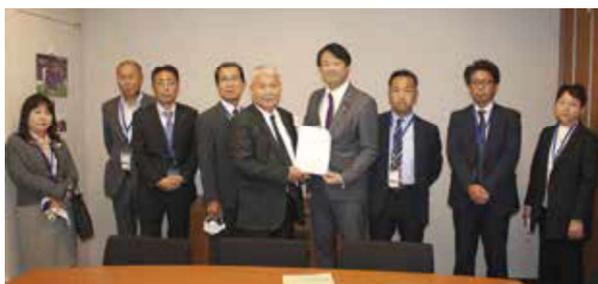


「ガンバロウ三唱」

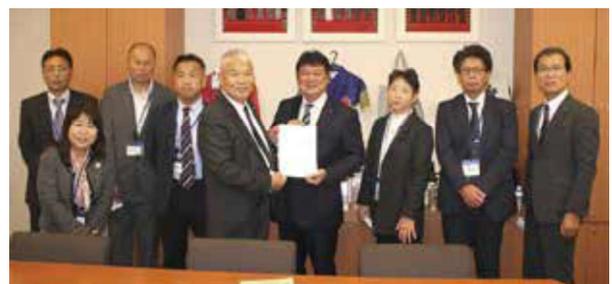
「農業農村整備の集い」終了後、府内からの参加者は衆議院議員会館、参議院議員会館に京都府と縁のある国会議員を訪ね、決議された要請書と京都府内の農業農村整備の実施状況資料により要請活動を行いました。



西田昌司 参議院議員



吉井章 参議院議員



田中英之 衆議院議員

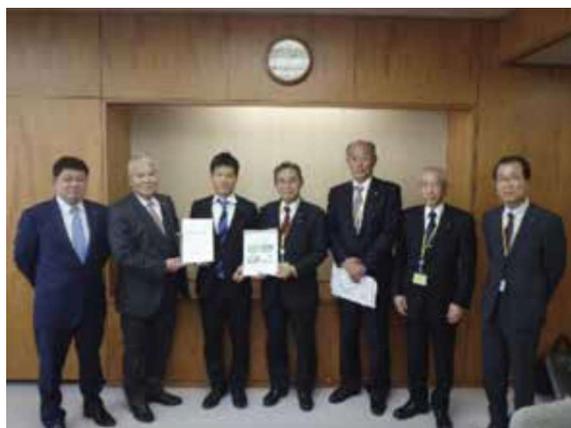
農業農村整備事業に係る予算確保に向けた要望活動

■財務省、農林水産省、関係国会議員に対して要望活動

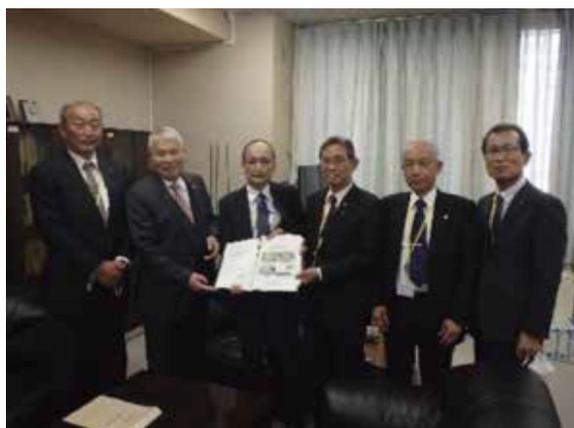
京都府議会土地改良議員連盟（近藤永太郎会長）と合同で、令和4年11月11日（金）、財務省、農林水産省、関係国会議員に対して要望活動を行いました。



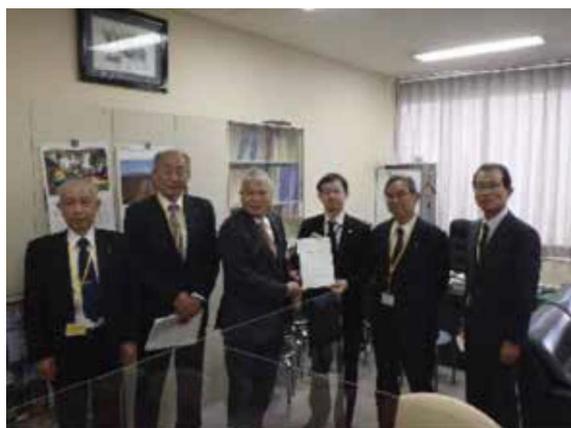
財務省主計局 宮里主査



勝俣農林水産副大臣



農村振興局 安部次長



農村振興局 青山整備部長



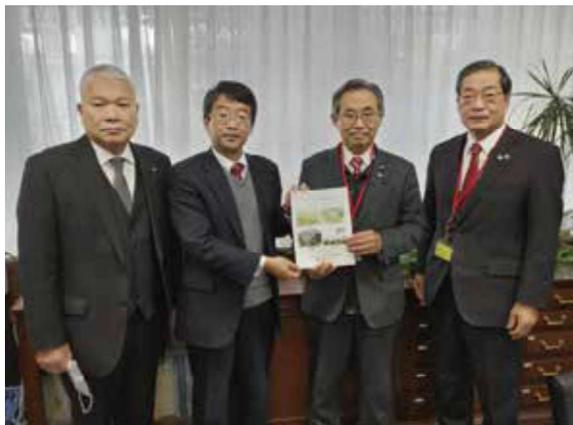
全国水土里ネット会長会議顧問
進藤参議院議員



全国水土里ネット会長会議顧問
宮崎参議院議員

■近畿農政局、京都府に対して要望活動

令和4年12月21日（水）、農林水産省近畿農政局、京都府に対して要望活動を行いました。



近畿農政局 大内次長



京都府 西脇知事

〈要望事項〉

■ 重点事項

- 1 食料供給力や農業競争力の強化に向けた農業生産基盤の整備、農村地域の防災減災対策などを推進する農業農村整備事業が、計画的・安定的に執行できるよう令和4年度補正予算と令和5年度当初予算を十分確保すること。
- 2 小規模な土地改良施設に対する整備補修・更新等の支援の拡充と農家負担の軽減につながる省エネルギー化等を推進すること。
- 3 日本型直接支払制度の予算確保と、活動組織の広域化等地域の体制強化につながる制度に拡充すること。

■ 一般事項

- 4 都市部における農業が果たす多面的役割が継続できるよう、土地改良施設の整備を、農業振興地域と同様に推進すること。
- 5 農村地域の生産基盤と住民の安心安全を支えている土地改良団体に対する技術力の向上や複式簿記の円滑な導入などによる運営基盤の強化を支援すること。

令和5年度農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要

令和5年度農業農村整備関係予算4,457億円が、令和4年12月23日に閣議決定され、既に成立している令和4年度補正予算1,677億円と合わせて6,134億円となります。

○令和5年度当初予算

(単位：億円)

・農業農村整備事業〈公共〉	3,323 (3,321)
・農業農村整備関連事業（非公共） 農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 畑作等促進整備事業、農山漁村振興交付金	543 (540)
・農山漁村地域整備交付金〈公共〉	591 (591)
計	4,457 (4,453)

※下段（ ）書きは、令和4年度当初予算額。

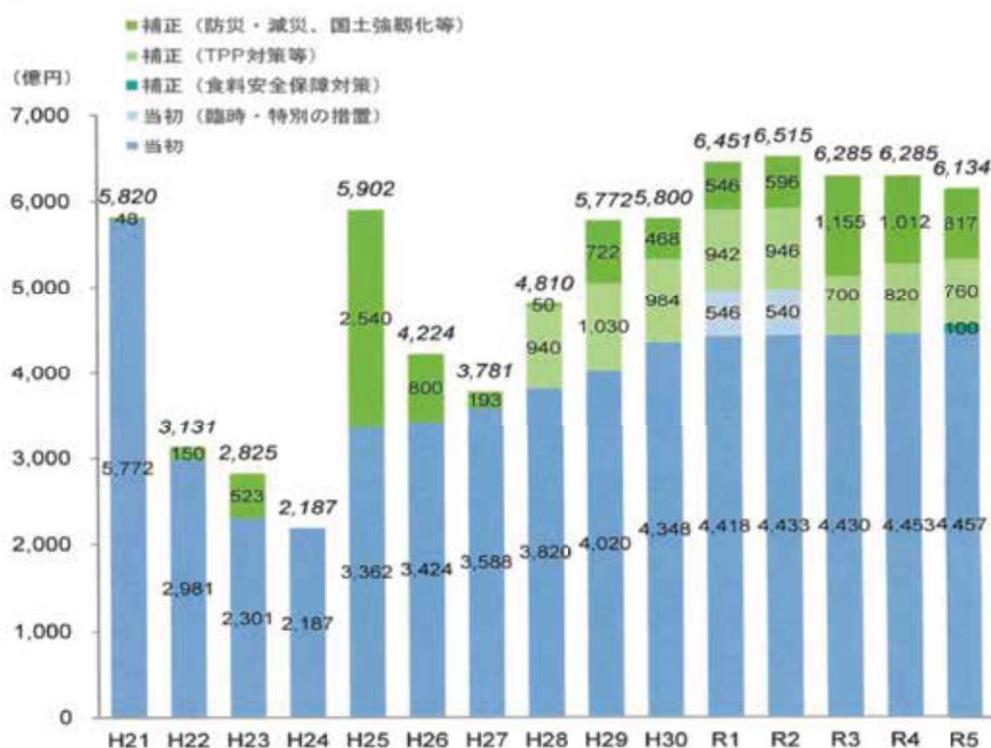
計数は四捨五入により、端数において合計と一致しないものがある。

○令和4年度補正予算

(単位：億円)

・防災・減災、国土強靱化のための5か年 加速化対策〈公共〉	1,677 (1,855)
・TPP対策	
・食料安全保障対策	

※下段（ ）書きは、令和3年度補正予算額



農業農村整備事業関係予算の推移

新田辺排水機場・田辺地域治水対策事業の着工を祝う会

新田辺排水機場・田辺地域治水対策事業の着工を祝う会が、令和4年11月13日（日）、京田辺市と綴喜西部土地改良区の共催により京田辺市田辺西浜の新排水機場建設予定地で関係者約100名が出席して開催されました。上村京田辺市長の式辞、京都府知事の事業者挨拶（鈴木副知事代読）に続き、来賓の一人として本連合会田中英夫会長が祝辞、事業主体の京都府から事業概要説明、主催者・来賓による鍬入れ式があり、喜多綴喜西部土地改良区理事長の謝辞で会が締めくくられました。

本事業は、京都府が農林事業の新田辺排水機場建設と土木事業の新西浜樋門整備を歩調を合わせて実施することにより（令和8年度完了予定）、農地の湛水被害防止と地域の治水安全度の向上を図ろうとするものです。



上村市長式辞



田中英夫会長祝辞



鍬入れ式



喜多理事長謝辞

非補助農業基盤整備資金

非補助農業基盤整備資金は、土地改良区等が国からの補助を受けないで、かんがい排水やほ場整備、施設の補修・更新などの事業に取組み、農業生産基盤の保全管理・整備の推進を図る場合、日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対し長期・低利で融資する資金です。

なお、農業集落排水など農村生活環境の整備や国の補助対象ではない県又は市町村単独による補助事業についても、融資の対象となります。

■対象となる事業種類

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道、索道（軌道等運搬施設を含む。）、畦畔整備、農地造成、防災、農地保全、維持管理、農業集落排水（宅地内配管、トイレ、浴室、洗面所の改修等）、土地改良区事務所、事務機器、車両、調査費など。

■融資条件

ご利用いただける方：土地改良区、土地改良区連合等
償還期限：最長25年（据置期間10年以内）
融資限度額：地元負担金（最低限度額50万円）
金利：0.80%（令和5年1月19日現在）

融資のご相談・お問い合わせ

農協、信連、各市町村役場、府広域振興局、
京都府土地改良事業団体連合会、
日本政策金融公庫京都支店
農林水産事業融資課（075-211-2147）

令和4年度水土里ネット京都土地改良区役職員等研修会

令和4年11月7日（月）、水土里ネット京都土地改良区役職員等研修会をルビノ京都堀川で開催しました。本年度は、土地改良区の運営に女性が参加することの意義や事例について理解を深めて女性理事の登用推進を図ることや土地改良区の運営を担う役職員の健康増進を目的として開催し、土地改良区の役職員等約100名に参加いただきました。

研修内容は、全国水土里ネットの勝又中央土地改良管理センター所長から「土地改良団体における男女共同参画の意義、基本事項、手引きの使い方」、近畿農政局の細溪団体指導・資金係長から「男女共同参画の推進」と題してご講演、(株)ケーシップの尾崎保健師には、健康セミナー「要介護生活とまらないために」を実施していただきました。

参加者は男女共同参画について熱心に聴講され、健康セミナーでは手軽にできる運動を実際に体を動かして体験していただきました。



研修会場の様子



全国水土里ネット 勝又所長の講演



近畿農政局 細溪係長の講演

令和4年度近畿農業農村整備構造改革推進研修会

令和4年11月7日（月）、近畿農業農村整備構造改革推進研修会をルビノ京都堀川で開催しました。この研修会は、近畿府県の土地改良関係者を対象に土地改良長期計画に示されている「生産基盤の強化による農業の成長産業化」、「多様な人が住み続けられる農村の振興」、「農業・農村の強靱化」を踏まえ、農業農村整備事業の事例研究や情報交換を幅広く行い、近畿の農業農村の更なる発展を目指すため、近畿府県の連合会が輪番で開催しているもので、本年度は本連合会が当番として開催し、171名の参加をいただきました。

研修内容は、近畿農政局の大内次長から「これからの農業農村整備事業の展開方向」、京都地方気象台の芝岡調査官から「異常気象の特徴と備えについて」、農事組合法人ほづの伊津会長・副代表理事から「スマート農業への取組」と題して、ご講演いただきました。



研修会場の様子



近畿農政局 大内次長の講演



京都地方気象台 芝岡調査官の講演



農事組合法人ほづ 伊津会長の講演

女性活躍を推進する取組について～全国水土里ネット女性の会研修会～

全国水土里ネット女性の会研修会が、令和4年10月21日（金）、砂防会館別館（東京都）において、全国水土里ネット女性の会（会長 根本由紀子（秋田県 かつの土地改良区事務局長））主催により、全国から約60名の参加の下開催され、京都府からは「京都水土里ネット女性の会」植野副会長（本会理事）他1名が出席しました。

研修会では、「土地改良団体における男女共同参画の意義、基本事項」と題して、全国水土里ネットの室本専務理事の講演に続いて、女性活躍を推進するための意識醸成や課題解決に対する具体策について、6名ごとに分かれてグループワークが行われました。今後、各グループの意見が取りまとめられ、全国水土里ネット女性の会の意見として、全国の関係者に向けて情報発信がされます。



全国水土里ネット女性の会
根本会長挨拶



グループワークの様子



参加者で集合写真

水土里相談推進事業について

コロナ禍ではありますが、令和4年度は例年どおり巡回による水土里相談を実施しました。

今年度も、京都府から農林水産部農村振興課、各広域振興局地域づくり振興課の担当職員も出席をいただき、「土地改良法の一部改正」等について情報提供を行うとともに、会員の相談に対して行政の立場からの助言・指導をいただきました。相談内容と件数の推移は、下表のとおりです。

なお、連合会では今後も会員の皆様とともに、土地改良事業の一層の推進のために、水土里相談を実施して参りますので積極的な活用をお願いします。

水土里相談会場の様子



丹後支部



相楽支部

相談内容と件数の推移

項 目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	件数	件数	件数	件数	件数
1 土地改良区の運営について	56	33	6	5	11
2 土地改良施設について	30	20	6	20	15
3 会員支援事業について	12	8	8	4	2
4 要望等について	5	7	1	25	9

令和4年度換地等技術向上研修

土地改良区体制強化事業（受益農地管理強化対策）により、下表のとおり研修会を開催しました。

研修名	開催年月日	会場	参加人数
換地事務 新規担当者研修会	令和4年7月28日（木） ～7月29日（金）	ホテルルビノ京都堀川 朱雀の間	13名
換地計画実務 研修会	令和4年11月21日（月） ～11月22日（火）	ホテルルビノ京都堀川 嵯峨の間	6名

換地事務新規担当者研修会では、近畿農政局農村振興部土地改良管理課 加藤課長より土地改良法及び換地設計について、京都府農業会議農村創生部會澤参事並びに堀野農地中間管理事業推進室長より換地に不可欠な農地関係法令について、それぞれご講義いただきました。

また、換地計画実務研修会では、本会職員が講師となり、換地計画書の作成について実習形式での研修会を2日間開催しました。

さらなる知識の習得を目指し、令和5年度についても換地技術等向上研修会の開催を予定しておりますので、積極的なご参加をよろしくお願いいたします。



換地事務新規担当者研修会の様子

令和4年度農業農村整備技術実践向上研修

令和4年10月25日（火）に「農業農村整備技術実践向上研修」を開催し、web参加および会場参加合わせて34名の出席がありました。

本研修会では、例年多くの相談が寄せられる水路施設の基礎や日常管理について、オーパス・クリエーション（株）、日興（株）の担当者を講師にお招きし、整備補修の工法など、水路施設の維持管理に必要な知識・技術について研修を行いました。

併せて、土地改良施設の機能低下の防止、機能回復等を目的とする水利施設の補改修の補助事業である土地改良施設維持管理適正化事業の事務手続について、本年度に拡充された、防災減災機能等強化事業も含めた内容を本会職員から紹介しました。



オーパス・クリエーション(株)
日興(株)



研修会場様子

土地改良全般の相談

土地改良区等で生じている土地改良事業等に関する様々な課題の解決につながるよう、「毎月第3水曜日を定期相談日」と定めておりますが、随時ご相談可能です。

また、土地改良施設の管理等に関する苦情・紛争等の対策として、**顧問弁護士を配置**していますので、法律に関する案件についてもご相談ください。

土地改良区等紹介

瓶原土地改良区

区域：木津川市加茂町瓶原地域 地区面積 132ha(田) 組合員数：430人

【管理施設】用水路約6km 頭首工1箇所 ゲート箇所（排水用）7箇所
沈砂池、伏越水路（サイフォン）、隧道等

◆大井手用水の概要

現在も瓶原地区の生命線として郷を潤している農業用灌漑用水「大井手用水」は、鎌倉時代の中期の貞応元年（1222年）加茂町瓶原の海住山寺の高僧覚真（慈心上人）が農家が毎年のように水不足に悩んでいるのを見て、和東川に水源を求め「井手枕」と呼ばれる堰堤を築堤し、その用水を和東川右岸の山腹を開削する等を瓶原地区の農民と共に20数年の歳月の工事期間をかけて完成させた灌漑用水です。大井手用水の完成により、当時の米の収穫量は90tから約4倍の375tに増量したと言われています。



◆大井手用水は完成して800年

大井手用水は令和4年で完成後800年になりました。用水路の全長約6km、高低差5.5m、勾配1,250分の1であり、現在の土木技術でも難しい構造と言われています。

現在の堰堤「井手枕」は、昭和28年8月15日の南山城地域の大水害により、和東川右岸の大井手用水が根こそぎ流されたことから、コンクリート製の井堰に変更し場所も下流に移し、平成5年にも大規模補修を行い完成しました。これらにより井手枕、水路ともコンクリート技術で構築され旧大井手と大きく異なりましたが、慈心上人の志が現在に受け継がれて大井手用水は生まれ変わりました。現在も電気を全く利用していないので環境に優しい施設です。

慈心上人によって開かれ井手枕（頭首工）より流れる水は、造成から今日まで800年間、瓶原の田を潤し人々の暮らしも安定させ、大きな恩恵をもたらし続けています。このような大井手用水や土地改良区に理解を深めて頂くため、京都府の参加型住民（地域外ファン）づくり事業補助金を活用し大井手用水を辿って歩く「水源からの探検ツアー」を近年3回実施しています。



また、将来的に子供たちや若年層への継承を考えて、木津川市教育委員会発行の社会科副読本「わたしたちの木津川市」に大井手用水が取り上げられていることもあり、市内小学校や環境学習会などへ出前授業としてジオラマ模型を用いて説明し、一層理解を深めて頂いています。このような取り組みを通して大井手用水について農家・非農家を問わず目を向けて頂きたいと考えています。

地域の歴史ある貴重な施設の1つであるため「歴史的・文化的・環境遺産」として後世に伝えると共に、今後も計画的に改修事業を行い地域農業の発展に努めて参ります。



京都府農林水産フェスティバル 2022

令和4年11月26日(土)、11月27日(日)の2日間、京都府総合見本市会館(京都パルスプラザ)において、「京都府農林水産フェスティバル2022」が3年ぶりに開催されました。

本会からは、農業農村整備の重要性と土地改良区の役割・活動を多くの府民に知っていただくため、広報パネルや写真コンクール入賞作品の展示を行いました。



令和4年度京都府農林水産業功労者表彰

令和4年11月26日(土)、京都パルスプラザで開催された京都府農林水産功労者表彰式典において、多年にわたり農林水産業等に関する団体の役員として当該団体の発展に寄与し、農林水産業の振興及び発展への顕著な貢献により、次の3名の土地改良区関係者が京都府農林水産業功労者表彰を受賞されました。受賞者の皆様おめでとうございます。



久保 隆司 氏
南部土地改良区
理事長



波瀬 孝澄 氏
丹波町土地改良区
副理事長



芦田 廣 氏
福知山市豊富用水土地改良区
理事長

デジタル化推進の取組～リモート会議に参加する上での注意点～

本会では、会員支援の一環として、土地改良区の事務効率化のため、パソコン及びシステムソフトの導入を支援しています。

本記事では、近年普及したリモート会議での注意点について、簡単にご紹介します。

1. マイクの設定

リモート会議に参加したら、まずマイクの設定(集音しているか、していない(ミュート)か)を確認しましょう。

説明を聞く際は、マイクが雑音を拾わないようミュートにし、発言時のみミュートを解除します。これにより、ハウリング(スピーカーから出た音を、マイクが再び取り込むことにより雑音が生じる現象)等のマイクトラブルを予防することができます。



リモート会議の様子

2. インターネット環境

リモート会議をストレス無く利用するためには、一定のインターネット環境が必要です。回線の安定性や通信速度が充分でないと、音声の途切れや遅れ、映像のフリーズが起こる可能性があります。有線LANを使用することも一つの解決方法です。

3. セキュリティ

リモート会議の利用が増える一方、個人情報の流出等セキュリティ面におけるトラブルが懸念されています。トラブルを予防するため、セキュリティソフトの導入を是非ご検討ください。

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取組

第13回農と水と環境を守る子ども絵画コンクール

農と水と環境を良好に保全する地域ぐるみの活動の大切さを子どもたちに気づいてもらい、併せて、本コンクールの広報活動を通じて、広く府民への周知を図ることを目的に、「第13回農と水と環境を守る子ども絵画コンクール」を実施したところ、415点の応募があり、令和4年10月17日（月）開催の審査会において、知事賞他の入賞作品が選定されました。

表彰式と入賞作品の展示を11月26日（土）、11月27日（日）に開催された「京都府農林水産フェスティバル2022」において行いました。



表彰式の様子



展示の様子

受賞作品は協議会ホームページ (<http://www.nouchimizu-kyoto.jp/>) に掲載しております。

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会優良表彰

農地・水・環境の良好な保全と質的向上を目指し、日本型直接支払制度及びその推進に資する地域ぐるみで効果の高い活動や、先進的な取組を実践している優良な組織等を表彰することにより、関係者の意欲の高揚を図るとともに、各地での取組の更なる充実を促進することを目的に、平成25年度から優良表彰を実施しています。

本年度は、令和4年10月12日（水）開催の現地ヒアリング及び審査会において、知事賞他の入賞作品が選定されました。

なお、表彰式を11月26日（土）開催の「京都府農林水産フェスティバル2022」において行いました。



表彰式の様子

京都府農業用ため池管理保全サポート協議会の取組

令和2年度に設立された京都府農業用ため池管理保全サポート協議会では、ため池の適正な管理及び保全に資するため、ため池管理者等への管理、保全に係る指導や研修、相談対応及びため池の点検、現地調査などの取組を展開しています。



遠隔監視システムの設置イメージ



啓発看板イメージ

本年度は、ため池の状況把握が困難

で地震や豪雨時の下流人家等の避難対策が適切に行えない恐れがあるため池を対象とした「遠隔監視システム」の設置や、ため池への転落等の被害防止を図る啓発看板の設置を進めています。

お詫びと訂正

令和4年7月発行の「京都の土地改良」新役員の紹介 (p.7) において、「理事 塚原 奈良彦氏 (巨椋池土地改良区理事長)」の記載漏れがありました。関係の皆様にご迷惑をお詫びして訂正いたします。

京都の土地改良



「山里の雪化粧」第19回水・土・里ふるさと写真コンクール 銅賞(受賞者 廣瀬 誠)

年頭ごあいさつ

京都府土地改良事業団体連合会会長	田 中 英 夫	2
京都府知事	西 脇 隆 俊	3
全国土地改良事業団体連合会会長	二 階 俊 博	4
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	進 藤 金 日 子	5
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	宮 崎 雅 夫	6

主な活動

令和4年度理事会並びに監事会	7
第44回全国土地改良大会 沖縄大会	8
農業農村整備の集い及び決議文に基づく要請活動	9
農業農村整備事業に係る予算確保に向けた要望活動	10
令和5年度農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要	12
新田辺排水機場・田辺地域治水対策事業の着工を祝う会	13

研修会等

令和4年度水土里ネット京都土地改良区役職員等研修会	14
令和4年度近畿農業農村整備構造改革推進研修会	14
女性活躍を推進する取組について ～全国水土里ネット女性の会研修会～	15
水土里相談推進事業について	15
令和4年度換地等技術向上研修	16
令和4年度農業農村整備技術実践向上研修	16

土地改良区等紹介（瓶原土地改良区）	17
-------------------	----

その他の活動等

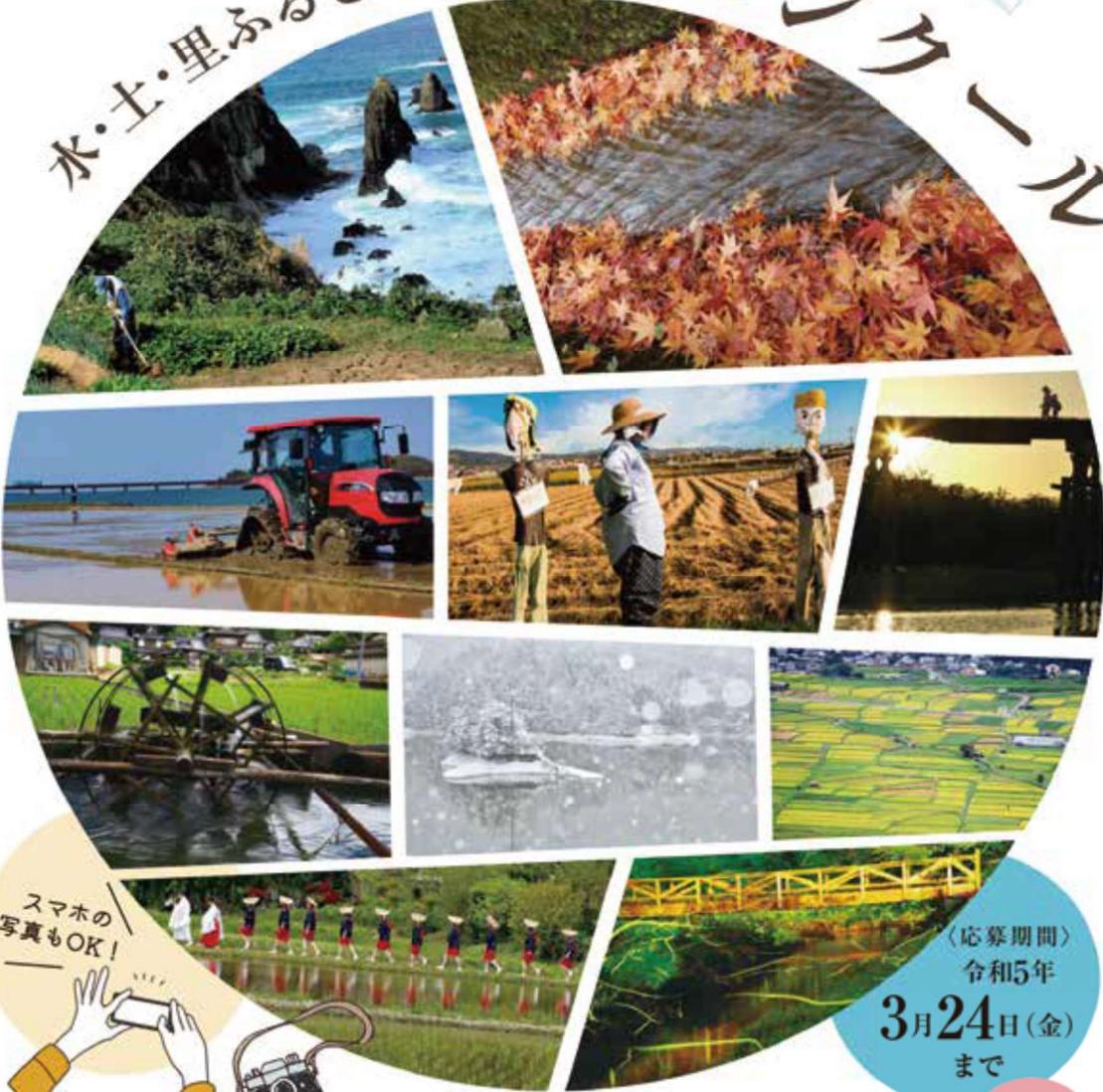
京都府農林水産フェスティバル2022	18
令和4年度京都府農林水産業功労者表彰	18
デジタル化推進の取組 ～リモート会議に参加する上での注意点～	18
京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取組	19
京都府農業用ため池管理保全サポート協議会の取組	19

第
20
回

故郷を想う水土里の情景

Furusata
写真コンクール

水・土・里ふるさと



スマホの
写真もOK!



どなたでも応募OK! これまでの受賞作品をCheck! ▶

〈応募期間〉
令和5年
3月24日(金)
まで



「水・土・里」を基本テーマとした、地域の自然環境や景観、農業や農業用施設との関わり、人とのつながりを映した写真を募集します。



～未来に伝えたい京都の農業農村～
京都府土地改良事業団体連合会

お問い合わせ

〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104番地の2
京都府庁西別館 京都府土地改良事業団体連合会
TEL (075)451-4137 E-mail info@midorinet-kyoto.jp http://www.midorinet-kyoto.jp

みどり
水土里ネット京都

京都府土地改良事業団体連合会

〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104番地の2 京都府庁西別館
TEL(075)451-4137 FAX(075)414-2777
E-mail: info@midorinet-kyoto.jp
URL: http://www.midorinet-kyoto.jp